
三菱UFJフィナンシャル・グループ

2007年度第1四半期業績の概要

(2007年4月～2007年6月)

2007年7月31日

Quality for You



MUFG

本書には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「当社」という）およびそのグループ会社（以下「当グループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをご参照下さい。なお、本書における将来情報に関する記述は上記のとおり本書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本書に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本書の計数は日本会計基準ベースの数値を使用しています。

<本資料における計数の定義>

- 連結** : 三菱UFJフィナンシャル・グループ（連結）
- 単体合算※** : 三菱東京UFJ銀行（単体）と三菱UFJ信託銀行（単体）の単純合算
ただし、05年度上期のPL項目は東京三菱銀行（単体）、UFJ銀行（単体）、三菱信託銀行（単体）およびUFJ信託銀行（単体）の単純合算
05年度下期のPL項目は三菱東京UFJ銀行（単体）、UFJ銀行（単体、10月～12月）、三菱UFJ信託銀行（単体）の単純合算

※特に断りのない限り、分離子会社を含まない

- 2007年度第1四半期業績サマリー (P/L) 3
- 2007年度第1四半期業績サマリー (B/S) 4
- 預貸金利回りの状況 5
- 貸出金・国内預金 6
- その他有価証券 7
- 金融再生法開示債権・与信関係費用 8

2007年度第1四半期業績サマリー (P/L)

【連結】



(億円)

- **連結粗利益は前年同期比+244億円**
 - 投信関連収益やトレーディング収益の増加等により増益
- **営業費は前年同期比+190億円**
 - 粗利増加に伴う経費の増加やシステム統合・コンプライアンス対応等により増加
- **四半期純利益は1,512億円**
(前年同期比▲682億円)
- **与信関係費用は840億円の費用計上**
(前年同期比723億円の費用増加)

<連結P/L>

	06年度第1四半期 (06/4~6月)	07年度第1四半期 (07/4~6月)	増減
1 連結粗利益 (信託勘定償却前)	8,415	8,660	244
2 うち資金利益	4,707	4,657	▲ 49
3 うち役員取引等利益	2,609	2,659	50
4 うち国債等債券関係損益	▲ 248	▲ 142	105
5 営業費	5,048	5,239	190
6 連結業務純益*1	3,366	3,421	54
7 臨時損益	▲ 149	▲ 633	▲ 484
8 経常利益	3,217	2,930	▲ 287
9 特別損益	714	142	▲ 571
10 四半期純利益	2,195	1,512	▲ 682
11 与信関係費用*2	▲ 117	▲ 840	▲ 723
12 与信関係費用*2 (単体合算)	161	▲ 442	▲ 604

(▲は費用)

*1 信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前

*2 与信関係費用=信託勘定与信関係費用(連結粗利益内)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益内)+貸倒引当金戻入額

- 海外貸出の増加を主因に貸出金は前年度末比+1兆円
- 個人預金増加の一方、法人預金は減少し、預金は前年度末比横ばい
- 金融再生法開示債権は同▲429億円と引き続き減少
 - 開示債権比率は1.39%に低下
- 株価の上昇を背景にその他有価証券評価差額は同+1,694億円

<連結B/S>

(億円)

	07年3月末	07年6月末	増減
1 貸出金 (銀行勘定+信託勘定)	851,507	862,405	10,898
[貸出金 (銀行勘定)]	[848,319]	[859,377]	[11,058]
2 うち住宅ローン(単体合算)*1*2	171,901	170,560	*3 ▲ 1,340
3 うち海外貸出*4	145,277	154,530	9,253
4 有価証券(銀行勘定)	482,076	493,094	11,017
5 預金	1,187,086	1,188,449	1,363
6 金融再生法開示債権 (単体合算)	13,258	12,829	▲ 429
7 開示債権比率 (単体合算)	1.46%	1.39%	▲0.06 ポイント
8 その他有価証券評価差額	33,842	35,536	1,694

*1 賃貸用不動産建築資金を含む

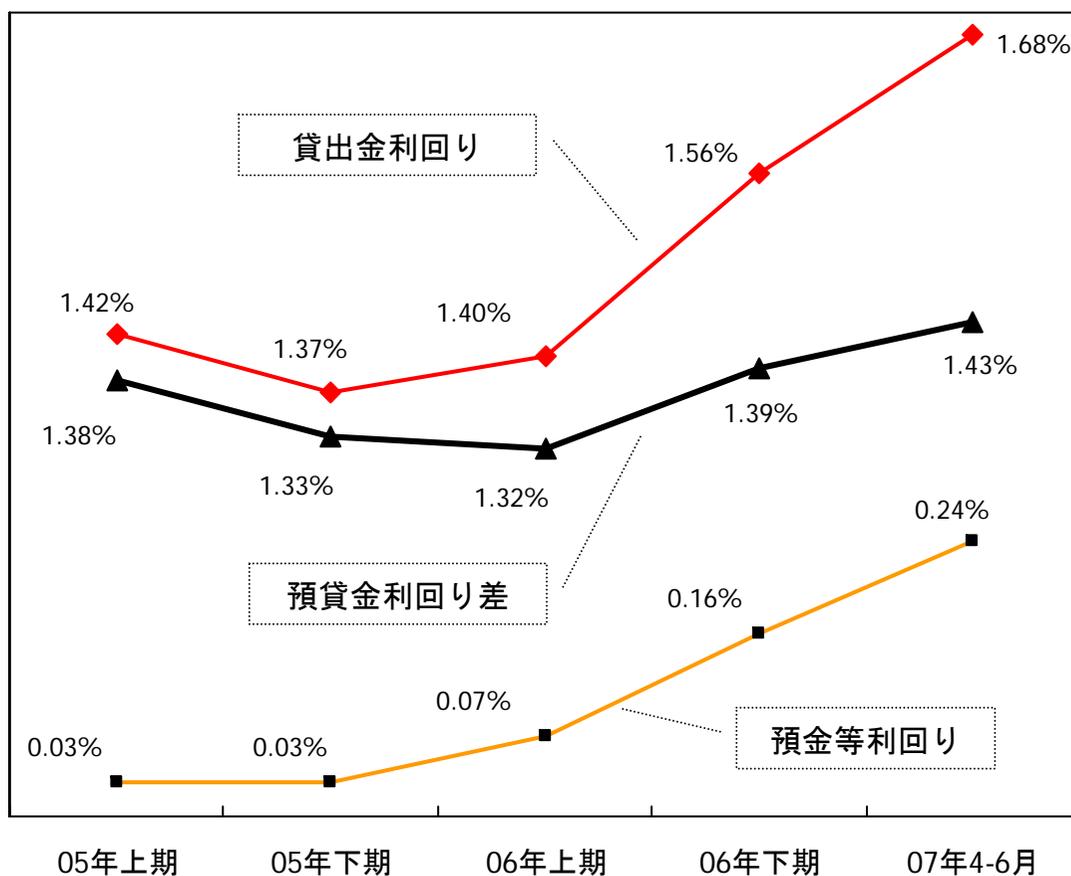
*2 単体合算+信託勘定

*3 07年4-6月の証券化実績：約1,100億円

*4 海外支店+UNBC

● 預貸金利回り差は引き続き拡大

国内預貸金利回りの推移（単体合算）



金利改定状況

2006年7月18日
普通預金金利
0.001% ⇒ 0.100%

2006年8月10日
短期プライムレート
1.375% ⇒ 1.625%

2006年10月1日
新規住宅ローン変動金利
2.375% ⇒ 2.625%
(既存貸出は2007年1月返済分より新利率を適用)

2007年2月26日
普通預金金利
0.100% ⇒ 0.200%

2007年3月20日
短期プライムレート
1.625% ⇒ 1.875%

2007年7月1日
既存住宅ローン変動金利
2.625% ⇒ 2.875%
(新規貸出は2007年10月1日より新利率を適用)

貸出金・国内預金

【連結】



●貸出金残高は86.2兆円に増加
(07/3比+1兆円)

<07/3比増減の主要因>

- 海外法人向け貸出 +0.8兆円
- 国内法人向け貸出 +0.2兆円
- 住宅ローン*1 ▲0.1兆円

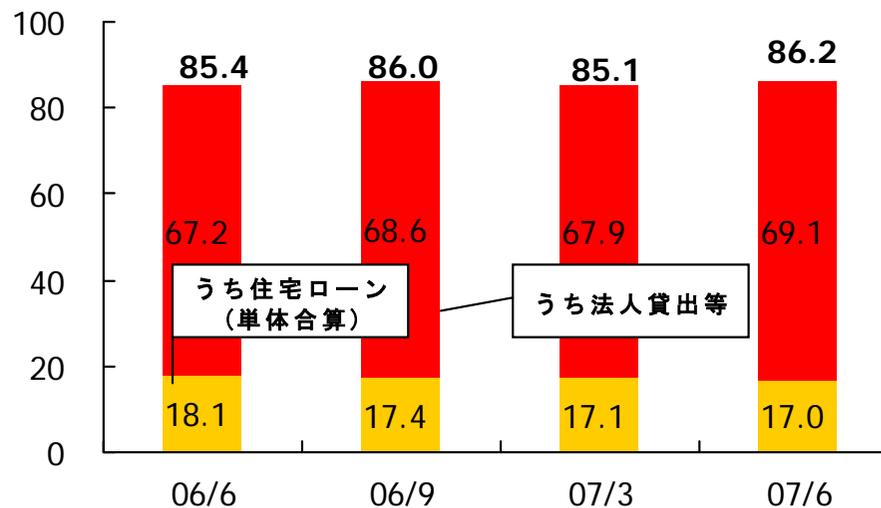
*1 07年4-6月の証券化実績：約1,100億円

●国内店預金残高100.3兆円
(07/3比▲1.3兆円)

<07/3比増減の主要因>

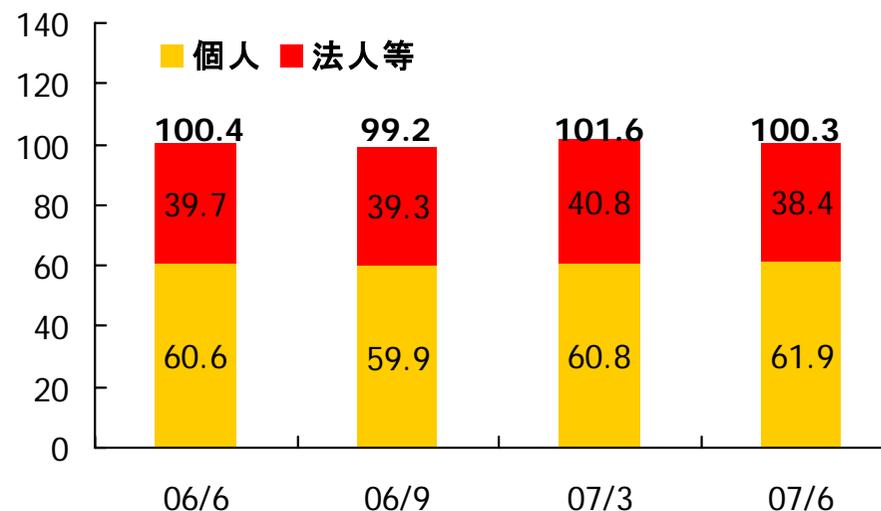
- 個人預金 +1.1兆円
- 法人等預金 ▲2.4兆円

(兆円) 連結貸出金 (末残) *2



*2 銀行勘定と信託勘定の合算

(兆円) 国内店預金 (末残) *3

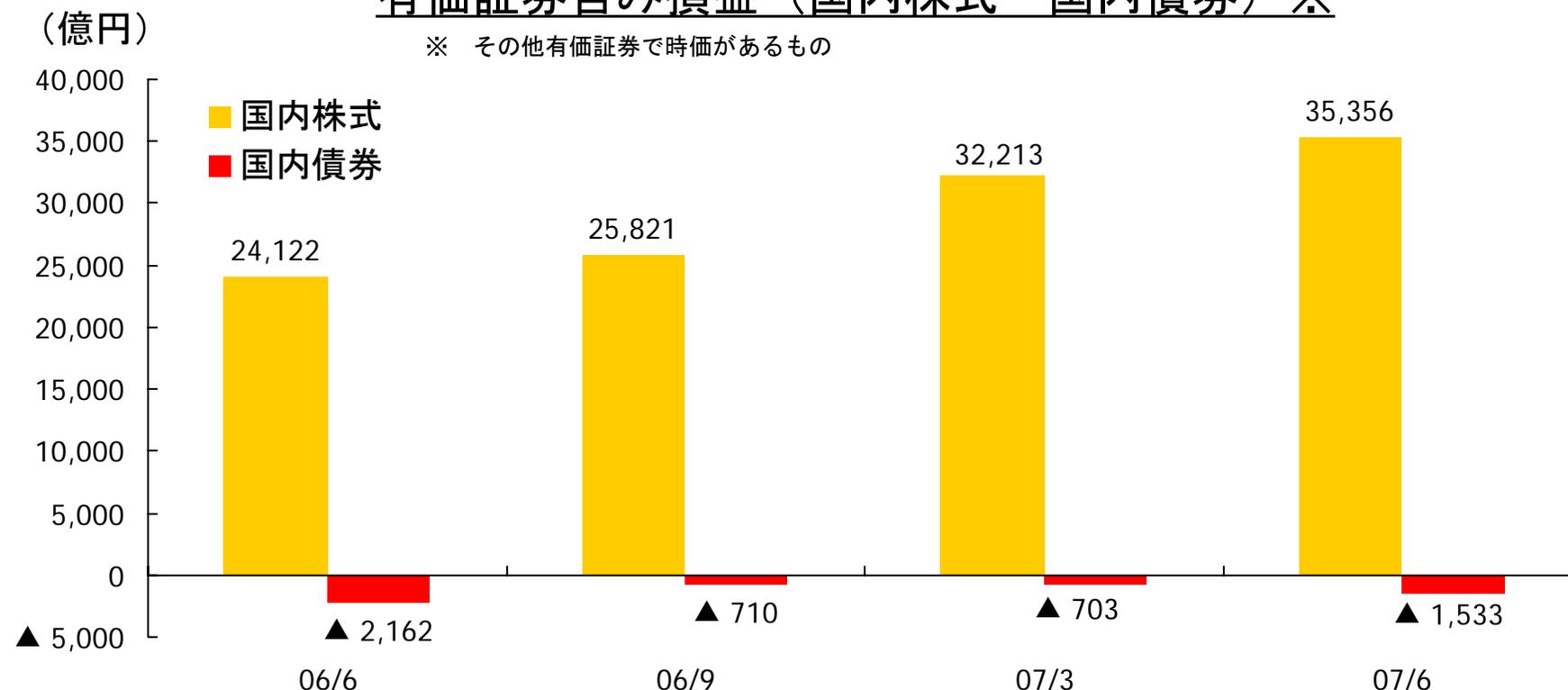


*3 単体合算、譲渡性預金・特別国際金融取引勘定分を除く

- 07/6末のその他有価証券含み益は約3.5兆円
 ~株価の上昇を背景に株式含み益が07/3末比3,143億円増加

有価証券含み損益（国内株式・国内債券）※

※ その他有価証券で時価があるもの

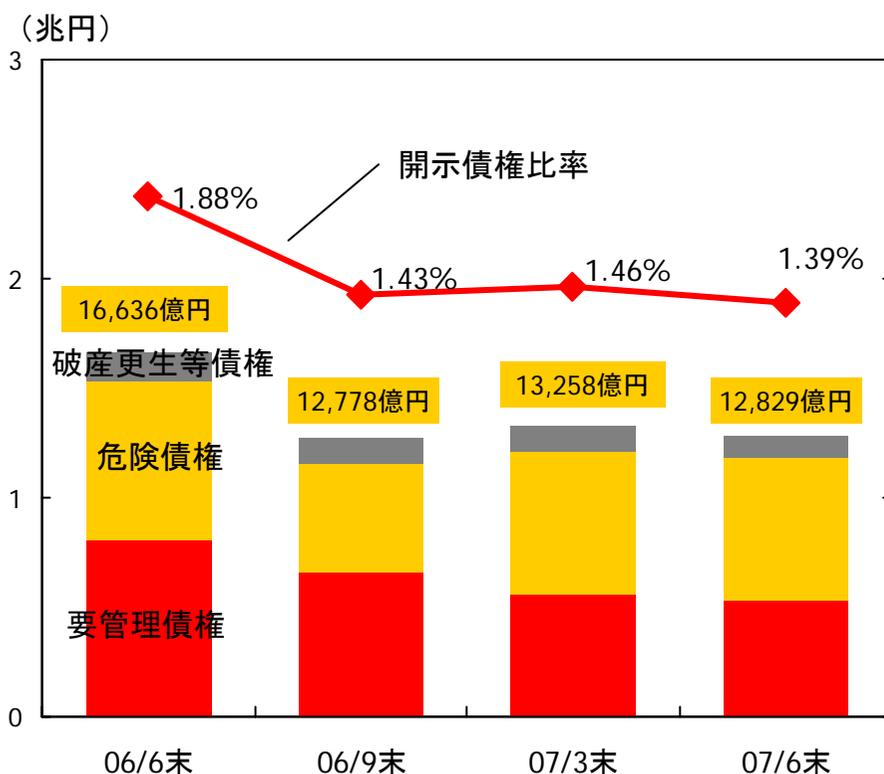


国内株式保有額 (時価)	6.88兆円	7.03兆円	7.66兆円	7.98兆円
国内債券保有額 (時価)	23.84兆円	23.65兆円	22.06兆円	22.42兆円



- 貸出資産の質は引続き改善、開示債権比率は1.39%に低下
- 単体合算の与信関係費用は442億円の費用を計上

金融再生法開示債権残高



与信関係費用 (単体合算)

